

## 第13回 水戸南ロータリークラブ杯中央地区ミニバスケットボール大会 (中央地区チャレンジカップ)

「副題」

久しぶりに見た、「ミニバスケットボール大会」は素晴らしかったので、来年はもっと多くのロータリアンを連れて来るからネ。

「第13回水戸南ロータリークラブ杯 中央地区ミニバスケットボール大会」の決勝大会が、青少年奉仕委員会の活動の一環として2015年2月8日(日)午前8:30から水戸見川総合運動公園体育館で行われました。

僕は今回、2つの感動を貰う事が出来ました。

1つ目は勿論、熾烈な戦いを繰り広げ、予選を勝ち上がった男子・女子の上位4チームによる決勝大会という事もあり、監督・コーチの怒鳴り声大きいにもかかわらず、黙々とボールに食らいつく低学年のちびっこ選手たち、黒子に徹する3・4年生、次期エース候補同士の激しいプライドのぶつかり合いなど、久しぶりに見るミニバスケットボールには引き込まれる何かがあり、感動の連続だった。声も枯れんばかりの控え選手の声援・2階席から身を乗り出し、肉眼でわが子の姿を焼き付けなければいいものの、決してビデオカメラを離さないで応援をする父母達。ゴールが決まる度に一斉に湧き上がる歓声。しかしながら、今回の決勝の点数を見ると2試合とも大きな差の付いた試合となってしまった。小沼理事長にお話を伺うと、決勝戦は男女2試合とも同じ地区で相手の手の内が分かり合っているチームだったため、番狂わせがない決勝戦となったようです。

2つ目の感動は、昨年暮れにある病院の待合室で奥様と二人で神妙な様子で入院の準備をしているところに出くわした僕としては、山崎会長が病み上がりにもかかわらず、開会式から閉会式まで約6時間、暖房設備のない体育館の中、大会のすべて試合を山崎会長自ら、熱心に観戦していた姿にも感動いたしました。

僕は、このすばらしい大会を更に継続し、水戸南RCはこの奉仕活動を出来るだけ、長く支援して行もらいたいな、と思わずにはいられなかった。

大会の様子と結果は下記の通りです。水戸市・ひたちなか市・笠間市・茨城町などの近隣市町村にある「スポーツ少年団」で構成され、各地の小学1年生から5年生までのメンバーで編成された、男子29チーム・女子42チーム、合計71チームが参加する県内最大級のミニバスケットボール大会です。

水戸南RCのメンバー16名は、子ども達の熱戦を夢中で見入っていました。

今回の成績は

男子が

- 優勝 寿ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 準優勝 緑岡FALCONS
- 第3位 菅谷東ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 第4位 梅ヶ丘ミニバスケットボールスポーツ少年団

女子が

- 優勝 菅谷東ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 準優勝 常陸大宮フェアリーズ
- 第3位 長堀ミニバス少年団
- 第4位 外野サニーチャイルド でした。

表彰式では1位～3位のチームに賞状とメダルが授与されました。「4位のチームに何か送りたい」という僕の言葉に小沼理事長は、「3位までで良いんです。」と言っていました。きっと4位だったチームはこれで奮起し、来年度は違うチームに成長しているかもしれない、と勝手に理解しました。

ちなみに男子4位の梅ヶ丘少年団は小沼理事長の所属チームです。

閉会式では大会スポンサーである水戸南RC10名足らずのメンバーへ、子供達から『ありがとうございます』と大きな声で感謝の言葉をいただきました。

私としてはこの言葉を聞いて「こちらこそ有難うございました。」と言いたい気持ちで一杯でした。この感動をこの人数でいただくのはあまりにも、もったいない話です。

そして「来年こそは多くのロータリークラブのおじちゃんと、おばちゃんを連れてきて、もっともっと感動しにくるからね。」

と心の中で叫んでおりました。

以上